

社会人向け新大学院
都市経営研究科開設
入試説明会・開設記
念シンポジウム案内

GSUM
Graduate School of
Urban Management

大阪市立大学大学院
**都市経営
研究科** 設置届出中

梅田=大阪駅前第2ビル6F 大阪市立大学文化交流センター、杉本=大阪市立大学学術情報センター1F

6/30 金

梅田 18:30 ~ 21:00

都市政策・地域経済コースシンポジウム「公共施設のリ
ニューアル・劇場編—ロームシアター京都の挑戦」

宮崎刀史紀氏（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団ロームシアター京都管理課長）

7/1 土

梅田 15:30 ~ 17:30

第1回入試説明会

7/2 日

杉本 15:00 ~ 17:00

医療・福祉イノベーション経営コース
入試説明会

7/5 水

梅田 18:30 ~ 21:00

都市経営研究科開設記念特別シンポジウム（第1回）
「AI（人工知能）の衝撃—ビジネス、社会、雇用の革命
をどうする？」 村上憲郎（都市経営研究科予定教員、元グーグル米国本社副社長
兼日本法人代表）、服部桂（都市経営研究科予定教員、元米MITメディアラボ客員研究員）

7/7 金

梅田 18:30 ~ 21:00

都市行政コースシンポジウム「幸福度指標を使った地域
マネジメント」

熊谷和久氏（滝沢市企画政策課長）

7/11 火

梅田 18:30 ~ 21:00

都市経営研究科開設記念特別シンポジウム（第2回）
「都市経営の挑戦—行政がお金をかけず地域活性化する
パークマネジメント」【コーディネータ】佐藤道彦（都市経営研究科予定教員、
元大阪市計画調整局長）、【パネリスト】竹野瑞光氏（大阪市建設局公園緑化部調整課長）、
久村宗憲氏（大阪市経済戦略局観光部集客拠点担当課長）ほか

7/12 水

梅田 18:30 ~ 21:00

第2回入試説明会

7/18 火

梅田 18:30 ~ 21:00

第3回入試説明会

7/29 土

梅田 15:00 ~ 17:30

都市ビジネスコースシンポジウム「シェアリングエコノ
ミービジネス—中古物（空きスペース・空き時間）×
ICTのビジネス」 金野和弘氏（鳥根県立大学准教授）、林恒宏氏（大阪成蹊
大学講師）、小倉哲也氏（太成学院大学講師）ほか

お問い合わせ 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学学務企画課（都市経営研究科
開設準備担当）06-6605-3508

<http://www.gsum.osaka-cu.ac.jp/>

7/5 水
梅田 18:30 ~ 21:00

都市経営研究科開設記念特別シンポジウム (第1回)「AI(人工知能)の衝撃ービジネス、社会、雇用の革命をどうする?」



服部桂 (都市経営研究科予定教員)
1951年、東京都出身。早稲田大学
理工学部で修士取得後、1978年に
朝日新聞に入社。80年代の通信自
由化の際、米通信系ベンチャー企
業に外向。87年から2年間、米
MITメディアラボ客員研究員。科
学部を経て、朝日パソコンの副編
集長。94年に新聞紙面で初のイン
ターネット連載。その後、企画報
道部でデジタル面、科学部でbeを
担当。ジャーナリスト学校シニア
研究員を経て16年に定年退職。
著書に「人工現実の世界」「人工
生命の世界」「メディアの予言者」
など。

【趣旨】いまや第4次産業革命の時代といわれ、AIとIoTがあらゆる製品をネットにつなぎ、自動化をしようとしています。AI(人工知能)の技術は、これまでのコンピュータのような計算機型の回路ではなく、人間の脳を模した「ニューラルネット」型のハードウェアと、教え込みシステムから自分で学習するシステムへの転換により、検索企業であったグーグルが、ネット空間での膨大なデータ解析のため構築したAIが2012年に自発的な推論をするに至りました。その結果、巨大な技術的革新をとげ、人間の能力を超えつつあるのです。いまや人間の仕事の半分がAIになるとも予測されていると同時に、一方、新しいビジネスのチャンスも急速にうまれております。今回は、都市経営研究科特別シンポジウム(第1回)として、専門家のみなさまにお話しをうかがい、ビジネス、社会、雇用の革命を想定し、楽しくディスカッションしてまいりたいと存じます。



村上憲郎 (都市経営研究科予定教員)
京都大学工学部卒。DEC人工知能技
術センターマネジャー、インフォミ
ックス米国本社副社長、ノーザンテ
レコム/ドーセントなどの日本法人
代表取締役社長を経て、グーグル米
国本社副社長兼日本法人代表取締
役社長をつとめた。他に、慶応大学
特別招聘教授、会津大学参与、東京
工業大学学長アドバイザーボード委
員など。



【総合司会】近勝彦
(都市経営研究科予
定教員) 広島大学
大学院生物圏科学
研究科博士課程後
期環境計画学単位取得退学。その後、小樽商科大学、島根
県立大学などをへて現職。その間、東京大学社会情報研
究所・研究員、北東アジア地域研究センター主任研究員、
科学技術振興機構・非常勤研究員など。

7/11 火
梅田 18:30 ~ 21:00

都市経営研究科開設記念特別シンポジウム (第2回)「都市経営の挑戦ー行政がお金を かけず地域活性化するパークマネジメント」



竹野瑞光氏 (大阪市建設局公園緑地
部調整課長。1967年大阪生まれ。
1991年京都大学農学部卒業後、大
阪市役所に入庁。造園技術職員と
して公園、緑化行政の企画、計画、設
計、施工監督、現場管理などの各部
署を経験。14年より経済戦略
局観光部で大阪城パークマネ
ジメント事業などの大阪城公
園観光拠点化事業を担当。

【趣旨】本来公園は都市に潤いをもたらす憩いの場のはず
ですが、あまり利用されない例もあります。しかし本来都
市部では集積の利益があり、都市部の公園はうまくマネジ
メントすれば集客の機会はいくらでもあるはず。事実、
他都市では(新宿、代々木、渋谷など)都心の横の公園が
市民の憩いの中心となり活性化しています。民間に運営を
まかせ、集積の利益を利用して集客に成功すれば採算は十
分確保できるはず。このような手法はパークマネジメント
と呼ばれ、公民連携(PPP)、PFI、指定管理、コンセ
ッションなどの手法があります。今、大阪市では、先進的
なパークマネジメントの試みを次々におこなっており、こ
れにより「てんしば」や「大阪城公園」が活性化しまちが
大きく変化しようとしています。今回は、都市経営研究科
特別シンポジウム(第2回)として、政策担当者と事業者
のみなさまにお話しをうかがい、楽しくディスカッション
してまいりたいと存じます。



久村宗憲氏 (大阪市経済戦略局観光
部集客拠点担当課長) 1959年大阪
生まれ。香川大学農学部卒。1984
年同大学院修士課程修了後、大阪
市市役所に入庁。公募による飲食施設
の誘致を含む中之島公園の再整備等
担当後、2017年より現職において
民間事業者による大阪城公園、天王
寺公園の賑わい、魅力創出による
集客拠点化に取り組んでいる。

【コーディネータ】佐藤道彦
(都市経営研究科予定教員、
元大阪市計画調整局長) 京大
大学工学卒、大阪府立大学大
学院経済学研究科経営学専攻
修了。大阪市の都市計画部局
において、都心部・ベイエリア
での都市再生政策にたずさ
わる。



【総合司会】永田潤子(都市経営研
究科予定教員、元市政改革委員)
海上保安大学校卒、埼玉大学政策科
学研究科(修士・政策分析)、大阪
大学大学院経済学研究科博士後期課
程単位取得満期退学。著書に『パ
ブリックセクターの経済・経営学』
『図書館経営論』等がある。